

長久手人

File No. 3

長久手人の氏名

ミズオカ ケイコ
水岡 恵子

活動内容

自然の力をダイレクトに体感！長久手の湿地を守る活動

Q1 活動内容と始めたきっかけは？

「湿地保全する？」「やりたあ〜い！」と、26年5月に、「長久手湿地保全の会」を3日くらいで立ち上げました。現在、会員が13人います。湿地に笹が増え始め、「このままじゃ湿地がなくなる。」との思いでした。

Q2 「この」活動の「ここ」が面白い！
やりがいがある！と思う事は？

湿地を守りたいと思って活動を始めたら、そこに住んでいる植物や昆虫が増えてきました。手をかければかけただけ応えてくれる、その嬉しさを仲間と共感できる。そんな繋がりが嬉しい。いつもと違う空間の中で、自然を感じられます。

Q3 ずばり！
あなたが考える「幸せ」とは？

湿地を調べたり、草を鎌で刈ったり、取ったり、木を切ったり。蚊に刺されたり、蜂やアブに襲われたり、夏は暑いし、冬は寒いし。でも、小さな花や昆虫に会えて、小鳥のさえずりが聞こえてくる。それが、とっても楽しい。そんな小さな嬉しさが幸せ。そこから、広がる世界が幸せです。

Q4 フリーメッセージ
(例)将来の目標、参加の呼びかけ

湿地帯が無くなっちゃうと、そこにしか生きられない小さな花や昆虫がいなくなる。それじゃダメだよって、自然が教えてくれるんです。これから、5年後に開催予定の長久手湿地サミットを意識しながら、活動をより広げて行きたいと思っています。



湿地保全活動の様子



湿地の魅力について楽しそうに語る
水岡さん

取材者(じゅんちゃん)のコメント

湿地の話が始まると、目がキラッと輝いて、「もう何時間でも、話したい。」と、湿地のこと、そこで生息している花や昆虫の不思議さをいろいろ教えて下さいました。草刈り、間伐が中心の大変な活動をしていらっしゃるのに、そのことは口にされず、只々湿地での小さな出会いを大切にしているすてきな方でした。